

低温着火による火災に要注意！

皆さんは「低温着火」という言葉を聞いたことがありますか？

鈴鹿市内でも「低温着火」が原因の火災が発生しています。

日常生活ではあまり聞きなれない言葉だと思いますが、「低温着火」によって発生する火災は私たちの生活の中で簡単に起こり得るものです。

～低温着火はどうやって起きるの？～

コンロやストーブなどの強い熱源が壁に近接し、それが長期間続いた場合、その熱により壁や壁内部の木材から徐々に水分が奪われ、長い期間をかけて木材は炭化されていきます。炭化した木材は通常の木材に比べ燃えやすいため、100℃程度の低い温度でも発火温度に達し、直に火を近づけなくてもコンロ等の熱が伝わるだけで燃え始める可能性があります。



写真のように、見た目壁に火は見えなくても壁を破ると内部が燃えているという場合があります。**燃えているものが見当たらないのに煙の臭いを感じる**、また壁を触ったときに**異常な熱さを感じる**ときは、壁内部の木材が炭化し発火している可能性があります。

～低温着火を防ぐために～

低温着火により発生する火災は未然に防ぐことが可能です。

自宅内や飲食店を営んでいる方は長年使用し続けてきたコンロ，その他加熱調理器具を次の項目に沿って再度確認してみましょう。

- ① コンロ周辺の壁などにひびが入っていないか
不燃材（ステンレスの板，タイル貼り等）の場合黒色や茶色に変色していないか
- ② 壁が異常に熱をもっていないか
- ③ コンロと壁の間に適切な距離が保たれているか
（火災予防条例で定める距離）
（参考：鈴鹿市火災予防条例 第三条第一項）
- ④ コンロにかけた鍋等が壁と接触していないか
- ⑤ 万が一に備えて消火器などの初期消火器具を設置する



～まとめ～

コンロやストーブ，その他加熱調理器具は簡単に使用できる便利なもので，私たちの生活には欠かせないものです。しかし，便利なものでも誤った使用方法やこまめな点検等がなされていないと災いのもととなってしまいます。

大きな火災になるその前に，正しい使用方法と点検を行い自分自身と家族を守りましょう。